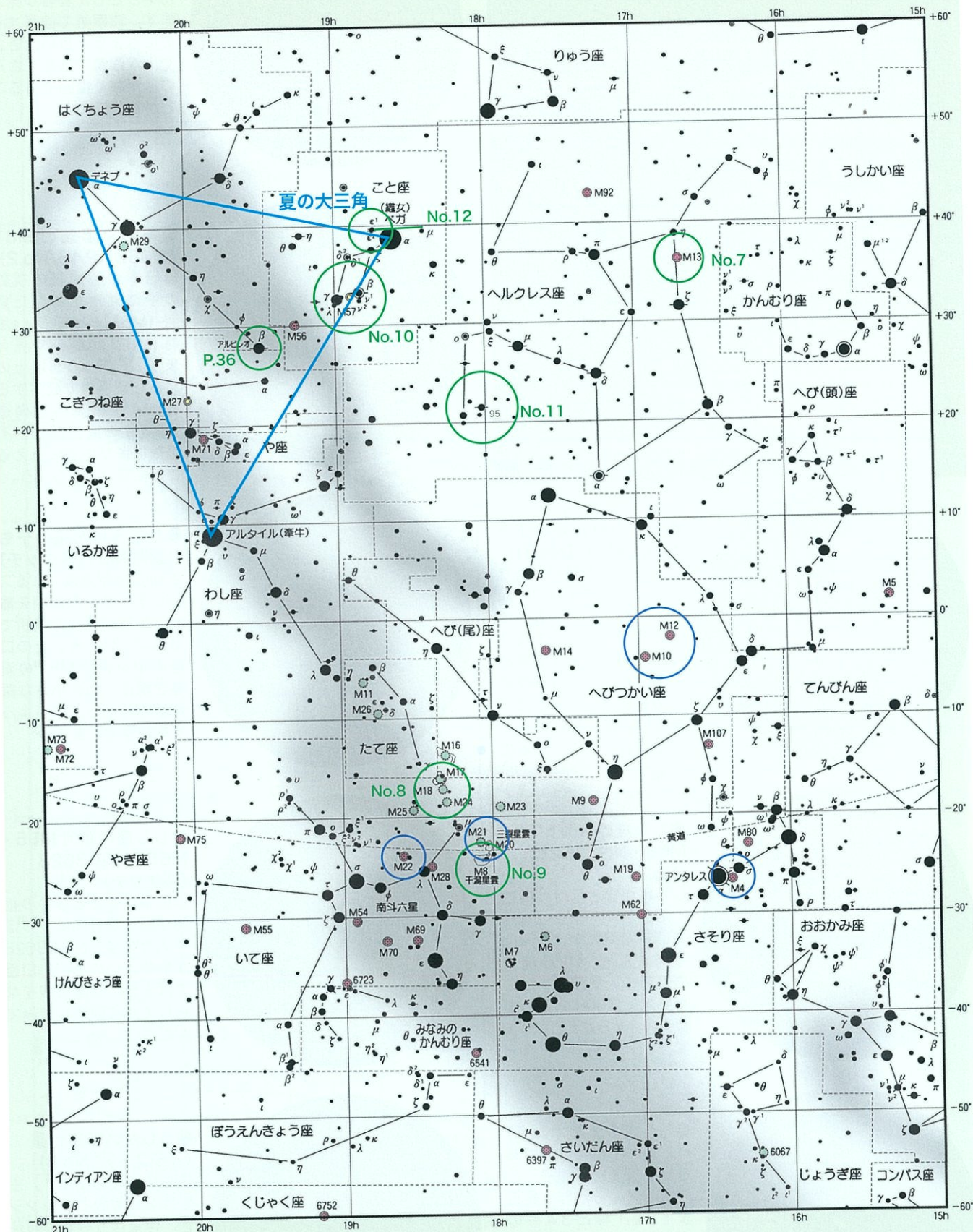
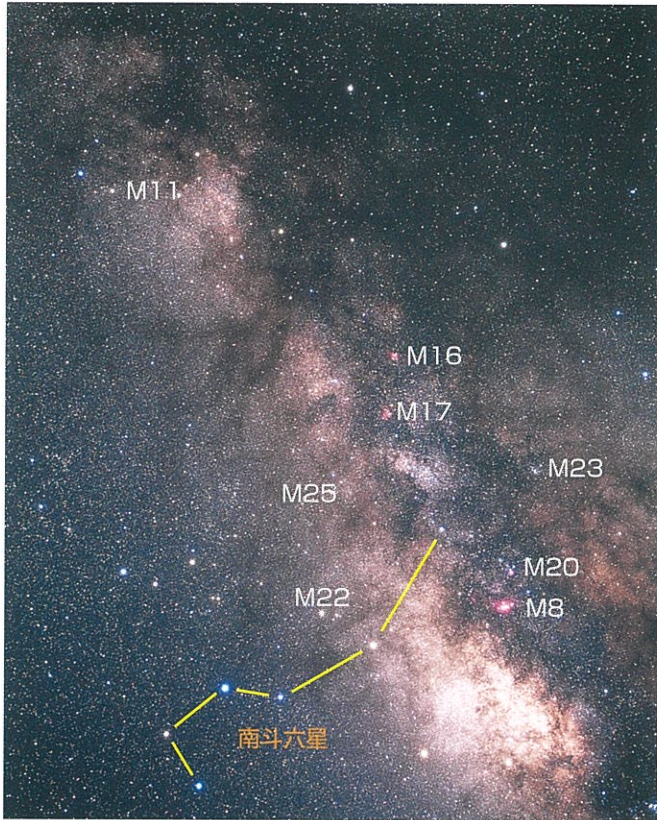


夏の星空散歩



- 0等星~6等星
- ◎ 変光星
- 重星
- ☾ 銀河
- ☁ 散光星雲
- ☉ 散開星団
- ☼ 球状星団
- ☄ 惑星状星雲
- 本文中に解説があるもの
- その他の興味深い天体



●ヘルクレス座の M13 (No.7)
 大型の球状星団で位置を把握していれば、肉眼でもぼんやりとした姿を見ることができます。小口径の望遠鏡で観察すると、ぼんやりとした星雲状の中心部に小さな星がつつと取り巻いているようすが観察できます。



●いて座の^{オメガ}Ω星雲 M17 (No.8)
 ギリシア文字のオメガ(Ω)に似ているとされていますが、「白鳥星雲」のよび名のほうがぴったり。散光星雲としては明るく見やすいものです。



●いて座の干潟星雲 M8 (No.9)
 写真を撮影すると、濃淡のある広がりを持ったピンク色の明るい星雲と散開星団が重なって美しく写ります。



●いて座の干潟星雲 M8 (スケッチ)
 双眼鏡でも見えますが、望遠鏡で観察すると濃淡のあるベール状の星雲の中に小さな散開星団が重なっているようすが観察できます。小口径でも星がきらめいて美しく見えます。



●こと座の環状星雲 M57 (No.10)
 太陽ほどの大きさの恒星は、一生の最後に周囲にゆっくりガスを放出し、高密度で小さな星を残し生涯を終えます。写真には、ドーナツ状のガスがはっきりと写ります。



●こと座の環状星雲 M57 (スケッチ)
 小さなリング状の姿は、小口径の望遠鏡でも観察できます。中倍率からやや高倍率を掛けて観察してみましょう。



●ヘルクレス座の 95 番星 (イラスト) (No.11)
 ほぼ同じ明るさの星のペアで、ピンクとブルーの星が並んで見えます。小口径では色ははっきりしませんが、口径 15cm 以上の望遠鏡でピントをずらして見ると色がわかります。



●こと座の^{イpsilon}ε星 ダブル・ダブルスター (イラスト) (No.12)
 望遠鏡の解像力のテスト星としても使われる重星。双眼鏡でのそくと二重星であることがわかります。優秀なレンズであれば 6cm120 倍で完全に分離し 2 組の二重星であることがわかります。